

第2回 市民活動交流まつり 参加・募・集!!



ユニークな企画やアイデアで、まつりを盛り上げましょう!

■平成23年3月13日(日)
■市民活動交流館(メイトム宗像)
資格 ■市内を拠点に活動している市民活動・ボランティア団体(営利団体不可)で、10月からの月1回程度の会議に参加できる団体又は個人
問合せ ■0940-36-0311(交流室/木村・吉丸)

ワールドフェスティバル 「世界の味横丁」を



体験しませんか



■日時: 9月19日(日) 11時~15時
■場所: グローバルアリーナ芝生広場
■内容: 中国、韓国、ベトナムなどの料理屋台
※人づくりでまちづくり事業補助金活用事業です
※ブルガリアフェスティバルも同時開催中!

館長だより



編集会議では、「シルバー年齢は、いくつから?」との話題で盛り上がりました。

私自身が老いについて意識し始めたのは、40歳の誕生日を迎える前の晩からです。次に迎える節目の歳は50かと不安になり、なかなか眠れませんでした。と言いますのも、50代にはなんとなく老人の匂いを感じたからです。ところが50歳を迎えた日、何の感慨も湧きませんでした。感傷的に揺れるであろう自分の気持ちを想像し、その心境の変化に興味を持っていただけに、すこしがっかりした記憶があります。

そして、60歳の還暦に向かう過程では、童謡「船頭さん」の歌詞が妙に気になりました。「村の渡し船の船頭さんは、こと六十のおじいさん」で始まります。「ああ、もうすぐ六十のおじいさんか」との思いは常にありました。しかし今年の1月、余裕で還暦を迎えることが出来ました。薄くなった髪はおいとして、体はまだ元気に動ける、との自信からでしょう。

そこで結論ですが、シルバー年齢とは「自分自身が決めるもの」、と編集会議には報告することにしました。

「交流館ニュース」は、常時、皆さんからの情報を募集!! グループ紹介などにも是非ご利用下さい。

■送信先 m-c-forum@mail.707.to
「むなかた市民フォーラム 情報係」迄



「むなかた市民フォーラム」 宗像市職員研修のコーディネートをしました



8月、「協働」の意義や効果について学ぶ市職員の研修が、4回に分けて行われました。講師は加留部貴行さん(日本ファシリテーション協会フェロー)。協働は個人の限界を支えるもの。市職員の「助けて下さい」から始まった福岡市の協働事例の話などがありました。

後半のワークショップには市民フォーラムメンバーがファシリテーターとして参加。職員と市民が同じテーブルについての研修という形は新しい試みです。部署や立場を超えたこのような場こそが、協働の第一歩だと感じる研修となりました。(むなかた市民フォーラム/梶栗)

★ ポラ連の団体紹介 ★

～ハートにスマッシュ～ 「スポーツボランティア」

1981年、広報むなかたで会員を募集し、スタートしました。障害(聴覚、身体、知的)を持つ人たちとソフトテニス、卓球、風船バレーなどで楽しく汗を流しています。現在はバウンドテニスをしています。技術より楽しさを優先。技術は後からついてきます。

ただ今会員募集中です(車椅子の方、歓迎)。障害者、健常者一緒にさわやかな汗を流しましょう!

毎週日曜午前9時より中央公民館横の勤労者体育館で楽しんでいます。※都合で休む時もあります。



宗像ユリックス情報

パットゴルフでレクリエーション!



宗像ユリックスには様々な施設がありますが、案外知られていない、または知っているけどしたことがないという方が多いのがパットゴルフ場ではないでしょうか。反面、リピーターも多く、健康のためにパットゴルフに定期的に来場されるお客様も多数いらっしゃいます。本格的な18ホール。緑に囲まれた高台に位置し、宗像の自然を眺めながらのプレイは格別です。また小さなお子様からお年寄りまで、無理なくゆっくりと家族揃ってお楽しみいただけます。パターもボールも用意してお待ちしています。これからのスポーツの秋。高い空の下で、パットゴルフを楽しんでみませんか?

交流館ニュース くぼらぼん

2010. 09 月号 Vol. 06

発行 ■宗像市市民活動交流館(メイトム宗像)
住所 ■(〒811-3437)福岡県宗像市久原180
電話 ■0940(36)0311 FAX ■0940(37)4101
Eメール ■meitomu@city.munakata.fukuoka.jp
URL ■http://kouryuukan.com

編集 ■むなかた市民フォーラム



御存知でした?

今年の「人まち」事業、こんな団体も!

元気な人づくりとまちづくりを応援する「人づくりでまちづくり事業補助金」。このページは今年度新しく採択を受けてスタートした団体を紹介しています。9月号は元気なシニアが中心メンバーとなって活動している団体です。

↓カレーを囲んで「いただきます!」



東郷町子ども会の解散に伴い、自治会の公民館活動の一環として平成21年度に「東郷町子どもクラブ」が発足。そして、「子どもたちの笑顔と元気があふれるまちに」との思いから、シニア世代を中心とした、クラブを支える「子どもクラブ見守隊」も立ち上がりました。支援事業として、「芋の苗植え・手入れなど、収穫までの一連の作業」「宗像産の食材を使用した食事」などを通じて、宗像の自然の豊かさ・食育の大切さを伝え、世代間の交流を深めます。ある日、東郷町公民館では、宗像産の野菜を使用したカレーをふるまう見守隊の姿が見られました。

小学生を対象に河東小学校の協力を得て、多彩でユニークな企画を盛り込みながら、月2回活動中。7月3日のお弁当の日には、朝早くから自分で作った苦労とアイデアいっぱいのお弁当を自慢げに持ってきました。手作りを通して食の大切さや親の苦労を少しでも感じてもらいたいという思いがひろがって保護者の協力も増えつつあります。子ども大好きな山本や佐藤のおいちゃんもみんなのキョートな笑顔を見てみませんか?

楽しさはじける遊びの達人教室



↓手作りのお弁当が出来ました!

宗像市インディアカを楽しむ会

素手で打ち返すスポーツ、インディアカ。スポーツが苦手な人や高齢者でも楽しめる初心者のための会として「インディアカを楽しむ会」が発足。猛暑の午後の市民体育館、汗を拭き拭き、メンバーが練習に励んでいました。「インディアカのトリコになりますから、と言つてスタートしたんですよ」と指導者の藤崎さん。「努力次第ではここで大会が出来るように広めていきたい」と夢を語ってくれました。



←これを手で打ちます

↑膝や腰を痛めても、やりたい一心で奇跡の回復!

「人まち」2次募集の結果のお知らせ

第2次募集の人づくりでまちづくり事業補助金は、3つの事業の申請があり、審査の結果、1つの事業が採択となりました。採択を受けたのは、宗像ムジーク・ジョア少年少女合唱団。子どもたちによる合唱団を創設し、地域や学校の枠を超えて、音楽活動を行うとともに、大島や地島に出張指導し、島の子どもたちとの交流も深めていきます。今後、市の広報紙などで団員を募集していきますので、ぜひ参加してください!